

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1097	分館活動経費	01	01	一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを育てる機会をつくる	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			06	06	分館費
担当部課名		中央公民館	102	102	分館活動経費
作成者氏名	奥井平和	連絡先	01	01	分館活動経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	19分館の地域住民	地域住民の趣味や学習活動を通じ学習意欲の向上させ、受講者個人の自己実現を図る。
本年度事業内容	地域住民のニーズに合った教室・講座の開催、広報誌の発行等公民館活動推進の周知	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例・伊賀市地区公民館規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.15	0.25	0.25
	人件費合計(A)	1,080	1,800	1,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	11,750	10,439	11,251
	活動委託料	10,938	10,439	10,439
	舞台装置操作	399	0	399
	その他	413	0	413
合計(A+B)		12,830	12,239	13,051
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	12,830	12,239	13,051	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
分館主催及び共催事業の実施数	館	19	19	19			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
分館主催・共催事業数	学習意欲が増せば各分館での事業が多くなる	件	179 目標 ()	180	180
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

各分館で行われている事業は、社会情勢を反映して各分館で工夫して実施され、19分館合同の公民館祭りが開催されている
--

評価	必要性	3	市民の生涯学習活動熱が高くなり、各分館での活動が盛んになっている。今後も市民が身近なところで生涯学習に親しめる環境の維持と振興が必要。 <th>総合評価</th>	総合評価
	有効性	3		C
	達成度	3		
	効率性	3		